

第 46 号

正福寺報

平成 31 年春彼岸号

臨濟宗 円覚寺派
住職 松原 行樹
TEL 045-811-3800
FAX 045-811-6304
shouhukuji@nifty.com

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町 3 4 0

<http://shouhukuji.com/>

怨みにとどまらない

正福寺住職 松原 行樹 ぎょうじゅ

お釈迦さまのお言葉に次のようなものがあります。

怨みは怨みをもて

解くべからず

怨みを忘れてのみ

解くべし

いにしえも今も

変わらぬ真理なり『法句経』第五

意訳

この世では、怨みは怨みによって鎮まることは決してない。怨みを捨ててこそ鎮まる。これは永遠の真理である。

サンフランシスコ条約の時、当時のセイロン（スリランカ）の代表であつたジャヤワルデネ大統領は、右のお釈迦さまのお言葉を引用し、日本に対して賠償権を放棄しました。

互いに憎みあつて報復を繰り返すうちに状況が泥沼化する、それはテロや内戦を見ればわかります。

私たちも腹を立て、貪り、妬み、羨み、憎み怨み、他人と比べて思ひ上がった卑下したりの毎日です。

「汝の敵を愛せよ」キリスト

「怨みに報いるに恩を以てせよ」と老子はおっしゃいます。

しかし凡夫の私たちは、怨みを忘れて愛する、思いやりをもって接することなど簡単ではありません。

怨みは消えないかもしれない。しかし消えないからといって、いつまでも執着していれば、いつまでたつても苦しみっぱなしの毎日です。

「できないからやらない」ではなく、怨みにとどまらずに、過去のことに執着することなく、今できることを懸命に、前向きに過ごすことが大切なことではないでしょうか。